

賛助会員募集中!

子どもたちに 生き抜く力を

—かながわ311ネットワークの防災教育—



かながわ311ネットワーク



かながわ311
ネットワーク 理事
(元中学校教員)

いしだ まみ
石田真実

2011年3月11日、東日本大震災。被災地支援を行っていた私たちは、釜石の奇跡の話を耳にしました。守られる側ではなく、「守る側の防災教育」を受けてきた彼らは、自分の命を守り、周りの人の命をも守ったのです。

かながわが、未曾有の災害に直面するとき、子どもたちのそばに、守ってくれる大人が必ずいるでしょうか。自らの命を守り、生き抜く力。その力は隣人を守り、きっと地域も守ってくれる。そう信じ、防災教育の輪をかながわに広げていきます。

防災教育プログラム

PROGRAMS

講師・教材・運営スタッフを合わせてご提供し、学校の授業や特別講座での防災教育の実施をサポートします



- 自分の住む地域ではどんな災害が起こりうる?
- 何かあった時の避難経路や避難場所は?
- 避難所にはどんなルールが必要?

DIG

災害想像ゲーム

自分の住む地域の白地図にビニールシートをかぶせ、自治体発行のハザードマップ(災害予想区域図)情報を書き込む。自分の住む地域で起こりうる災害をイメージしやすくなる。

逃げ地図

避難地形時間地図

浸水地域から高台まで何分で避難できるか一目で分かる地図を作成する。状況に応じた避難ルートを選択する力が身につく。通学途中など一人でも身を守る行動をとれる力を養う。

HUG

避難所運営ゲーム

避難所(体育館や教室)に見立てた紙の上に避難者を配置し、トイレや炊き出しなど避難所で起こる出来事に対応する。避難所での生活を具体的にイメージし何ができるか考える力を身につける。

クロスロード

災害対応カードゲーム

設問に対してYesかNoかを決断し、お互い選んだ理由を共有する。様々な意見や価値観を共有することで他者の理解を深める。



教育委員会主催
教員向け防災教育
研修の実績多数
(神奈川県/横浜市/綾瀬市)

実際の講座風景

防災教育は多くの方に必要とされています

SUPPORTERS

自ら考え、動く人になってほしい

かながわ311ネットワークさんにHUGの講座を依頼しました。リアリティが非常に高く、実際に近いパニックを感じた生徒たちからは「衝撃的だった」「災害への意識が変わった」という意見をもらいました。防災教育は未来への種まき。いざという時に自ら考え動く人になってほしいと思います。

横浜市立高校
副校長

次世代の「守れる人」を育てたい

東日本大震災の時、3人の子どもを抱え立ちすくんでしまいました。その経験からこの活動に携わっています。今、防災教育に取り組むことは、先の時代の「守れる大人」を育てること。子どもはすぐ大人になりますからね。我が家の子どもたちも、大きな台風が来た際に祖母の避難を心配してくれ、とても頼もしかったです。

藤沢市在住
防災教育ファシリテーター
(小〜高校生の母)

専門性の高い講座内容に期待

10歳の娘がいます。東日本大震災の時、次の日にやっと保育園で再会できたことは忘れません。娘が成長するにつれ、それぞれで行動する時間が増え、「身を守る方法」を知っておく重要性、学校に「防災教育」を取り入れる必要性を強く感じます。地域特性を調査し専門性の高い内容を提供できるかながわ311ネットワークさんには期待しています。

横浜市在住
防災教育ファシリテーター
(小学生の母)

本活動は皆様の寄付により運営されています
生き抜く力を身につけた子どもをたくさん育てるためにご支援をお願いします

10口で40人の子どもたちに
防災教育を届けることができます



防災教育賛助会員

1口 3,000円

<https://www.bosai-edu-kanagawa311.net/supporter/>